

## 2020-2021年度地区の基本方針

2020-2021 年度 ガバナー 藤井 秀香

# 「ロータリーと共に寄り添い奉仕の扉を開こう」 今在る自分のお陰様に感謝し、救いを求める声に寄り添い ロータリーと共に(友と)奉仕しましょう。

### 「日本のロータリー100周年、超我の奉仕に魂を!」

2020年は、日本にロータリーが誕生して、ちょうど100年目に当たります。

この間日本のロータリーは歴史の流れに翻弄され紆余曲折があったものの、今や地域に、世界になくてはならない奉仕の団体として活躍しています。

この様な記念すべき年にこれからを担う重要な年度にガバナーを務めることになり喜びと共に責任の重さを、感じております。地区やクラブの強み、弱みを知り、目標設定や行動計画の準備をします。地区委員の役割と責務の確認をします。

情報や資料、リソース(教材)を活用して、ストーリー(実話や体験談)を通して心に訴える事でインパクトを与えます。

直前・エレクト、ノミネーと地区戦略会議を開きます。

魅力ある生き生きとしたクラブが作れるよう各クラブに戦略計画委員会を設けていただき3年・5年後クラブがこうありたいと、目標を立てていただきます。

危機感を持って先を読み、クラブの現況を数値化してデータを分析して戦略計画を立てる様指導していきます。クラブでも研修リーダーを任命し、例会の少しの時間を利用して、ロータリーについて勉強していただくよう、指導します。

### 《女性会員ゼロクラブゼロ》

### 《各クラブ純増1名》

若い会員・女性会員の増強に努めます。

RLIは実施いたします。会長・幹事予定者は受けていただけたらと思います。

RIIは、ロータリークラブと、ローターアクトクラブの連合体です。

ローターアクトの委員長はセミナーや行事に参加していただきます。

インターアクトの研修旅行は、今年は国内で実施しようと思います。

ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)世界遺産の高野山で心を育てます。

ロータリー精神を表す言葉として大事にしている 一片の詩がありますので、ここに紹介させていただきます。

誰かに良い事をしたい

誰かの為になるなら  
喜んでもらえるなら  
それが私の喜び  
私が幸せな事のお裾分け

## 地区スローガン

《ロータリーと共に寄り添い奉仕の扉を開こう》

今在る自分のお陰様に感謝し、救いを求める声に寄り添いロータリーと共に(友と)奉仕しましょう。

## 地区ビジョンについて

○地区は、国際ロータリーで定められた新しい「ビジョン声明」と、それに基づく「戦略的優先事項」及び目的を理解し、地域の特性を鑑みて活動を展開します。

○地区は、不変である「ロータリーの中核的価値観」を尊重すると共に、新しい変化にも柔軟に対応し、持続可能なロータリーを目指します。

○地区は、クラブの多様性に配慮し、元気で、個性のある、魅力あるクラブ作りに注力します。

地区中期3か年目標(2019-2020年度、2020-2021年度、2021-2022年度)

### ①クラブの会員基盤の向上に対する支援強化

- ・各クラブの戦略計画(中長期計画)作成を推奨します。
- ・地区内会員数について、各クラブと協力し、2,000人を超えるよう努力します。
- ・地区内には、ロータリークラブのない市町村もあります。クラブ拡大の可能性を検討します。
- ・各クラブの個性を尊重しつつも、会員の多様性に配慮するように推奨します(幅広い年齢層と女性比率の向上)。
- ・ローターアクトクラブの接点を増やします。

### ②人道的奉仕の重点化と財団利用の推進

- ・公共イメージの向上を図るため、人道的奉仕を重点化します。
- ・ロータリー財団利用実績を年間40件の目標とします。
- ・ロータリー財団及び米山記念奨学金への寄付を推進すると共に、寄付ゼロクラブがないように協力体制を敷きます。

### ③公共イメージの向上とデジタル化の推進

- ・公共イメージの向上のため、地域社会に開かれたロータリー・イメージを意識して、ロータリー・デー等市民向け事業を推奨します。
- ・社会への露出を促すため、メディア対応を改善します。
- ・デジタル化の推進のため、「My Rotary」の登録率を65%に目標設定します。
- ・デジタル化の推進とデータ活用のために、ロータリークラブセントラルへの入力を各クラブすべてが行えるようにします。

※「このビジョンは2020年3月に策定し、7月より取り組むこととします」

## 地区運営および活動方針

ガバナー補佐および地区委員長・委員は、クラブのサポートを強化し、人道的奉仕活動を活発化する様、努力してください。

2020年10月24日「世界ポリオデー」に関西国際空港にてブースを設けてポリオ根絶キャンペーンを計画しております。(予定)

ポリオを根絶する5つの理由

- (1)生活の向上
- (2)未来への投資
- (3)医療費の削減
- (4)子供の健康の向上(命を守る)
- (5)歴史をつくる

世界保健機構(WHO)は3月、コロナの感染予防策として大規模なワクチン予防接種を停止する様指示しました。ポリオワクチン予防接種キャンペーンが延期になっております。多くの子ども達のワクチンの定期接種の機会を失った様です。ロータリーは世界の子ども達と約束したのだから、守らなくてははいけません。

戦略計画により、クラブの強化を活性化しましょう。まだ、お作りでないクラブは元・現・次期・次次年度クラブ会長からなる戦略計画立案チームを編成し、クラブの目標達成を支える計画を立ててください。

戦略計画には、下記の要素を盛り込む事が重要です。

- ①現状分析(地区、クラブの現状はどうか)
- ②ビジョン(将来、3~5年先)にどうありたいか
- ③戦略的優先事項と目標(何を達成する必要があるか)
- ④行動計画と成功の基準(各目標をどの様に達成するか)
- ⑤計画の実施手順(各段階の担当者を含む)
- ⑥成功の評価方法、目標への進展について情報を共有する方法、必要に応じて計画を修正する方法など

マイ・ロータリーへの登録推進(会長・幹事は必ず登録するようにしてください。)クラブ・セントラルを有効活用してください。

インターアクター・ローターアクターと地域社会との奉仕プロジェクトを計画する。人を育てる事は心を育てます。未来のリーダーを育てます。

ポリオ・プラス、年次基金を増やし、地区補助金、グローバル補助金を利用した、地域や海外での活動を推進しましょう。《世界を変える行動人》になりましょう。

社会奉仕は各クラブの奉仕活動を学び地区補助金による奉仕プロジェクトを立案してインパクトを与えてください。持続可能なのか、効果があるのか、公共イメージの向上になるのかどうか考えていただきたい。

ロータリークラブの公共イメージと認知度を強化しましょう。

- ロータリーとは何か
- ロータリアンとはどのような人々か

○ロータリアンの活動はどのような成果をもたらしているか

○ロータリーは、他の団体とどのような違いがあるか

クラブホームページを充実させてください。

### クラブ会員増強計画

ほとんどのクラブの最優先事項は、会員の高齢化と会員増強(若い会員、女性会員)。会員増強出前卓話を利用していただきたい。地区では、講師をお呼びして会員増強セミナー(元気なクラブづくりの為にワークショップ)を開催する計画をしております。

元気なクラブづくりのためには、長期的な会員増強計画が必要です。長期的な計画を立てることにより、現在ではだけでなく将来的にも活気あるクラブであり続けることができます。多様な会員がいるクラブを築き、クラブを強化し活気づけ、地域社会にとって重要な存在であり続けなくては、なりません。

会員数 87,613 人

女性会員 6,040 人

女性比率は、7% 世界は、23%

地区女性オーナー 8%

地区目標《女性 0 クラブゼロ》

2020年10月に日本のロータリーが誕生して、100周年を迎える記念すべき時に私と委員の皆様は共に祝い、共に活動し発展を目指しましょう。

インスパイア・柔軟性・多様性かつ継続性を持つ地区運営を行っていかうと思っております。

ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。